

平成 24 年 3 月 16 日

豊橋飼料株式会社

平成 24 年 4～6 月期の畜産用配合飼料価格について

弊社は、平成 24 年 4～6 月期の畜産用配合飼料価格について、平成 24 年 1～3 月期に対し、次のとおり改定することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

尚、改定額は地域・畜種・銘柄によって異なります。

記

1. 全畜種平均改定額 トン当たり 約 1, 250 円値上げ

2. 配合飼料価格改定に関する諸情勢

①主原料：2 月 24 日に発表された 2012/13 年度需給見通しでは、米国のとうもろこし生産量、期末在庫とも前年度を上回る見通しが示されました。しかし、現在、南米の干ばつの影響から、シカゴ相場は現在 650 ドル/ブッシェルを超える相場展開が続いています。しばらくは、南米の作柄動向に左右されやすい相場が続くものと思われ、とうもろこし価格は 1～3 月期に比べて値上がりする見通しにあります。

②副原料：大豆粕のシカゴ相場は、現在は 360 ドル/ショート・トンを超えて推移しており、大豆粕ミール価格は 1～3 月期に比べて値上がりする見通しにあります。

③海上運賃：フレート指標価格は 52 \$ 前後で推移しており、世界的景気減速懸念などを反映して軟調に推移するものと思われ。

④外国為替：米雇用統計で失業率の改善、ギリシャ議会での EU・IMF 提案の財政緊縮策の受入、1 月・2 月の日本の貿易収支の赤字を受けて円安が加速し、現在は 82～83 円台で推移しています。今後も円安の流れが続くものと思われ。

以 上

*お問合せ先 豊橋飼料株式会社 総合企画部（白井・須貝）

TEL 0532 - 23 - 5060